

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8228

住 所 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8

氏 名 大林道路株式会社

代表取締役社長 福 本 勝 司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	大林道路株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区小島町8番2号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	アスファルト混合物の製造		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	2,338	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ～ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

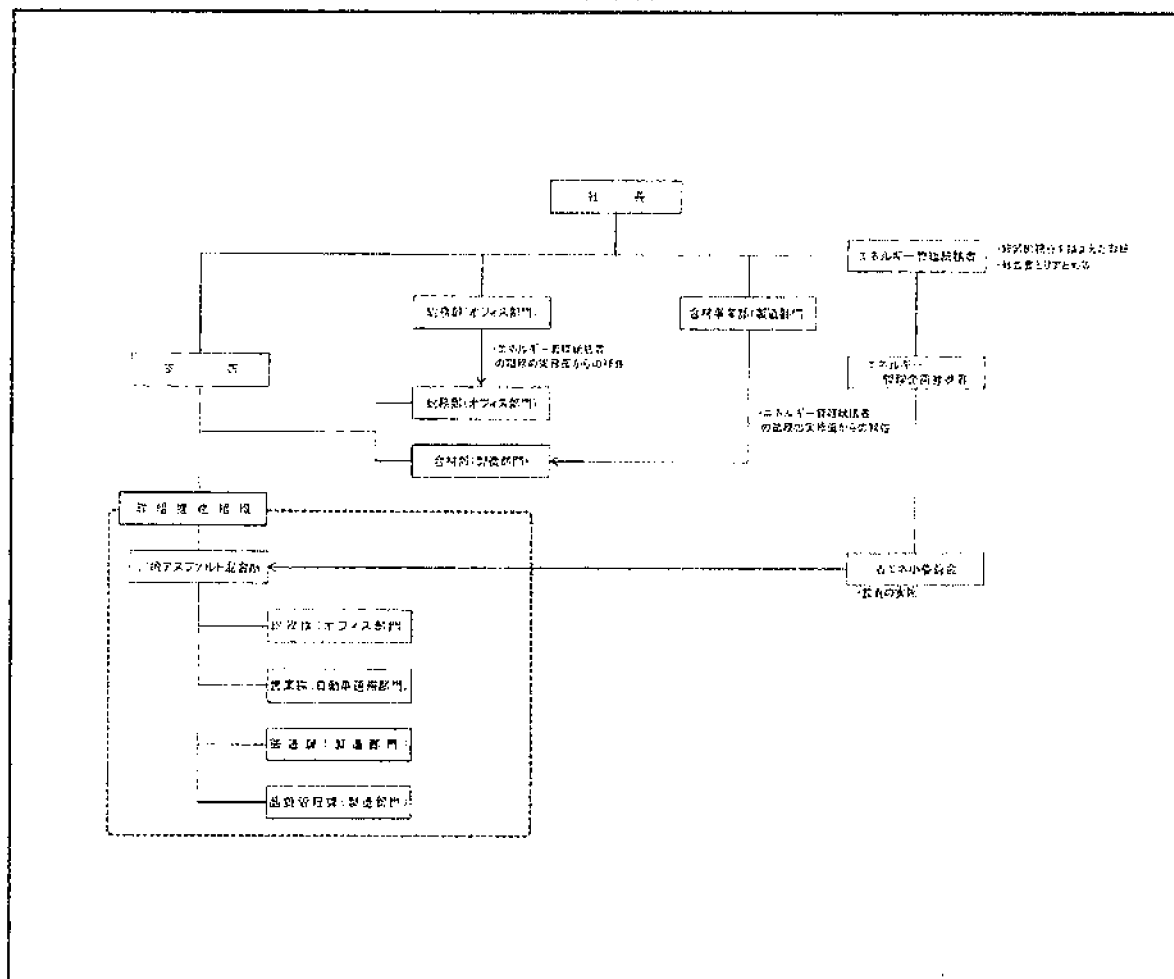
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1. 全体の基本方針

- ## 2. 市内事業所の基本方針

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



2 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準年度	2018	年度
目標年度	2021	年度
基準排出量	(実) 4,597 (調) 4,568 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標排出量	(実) 4,551 (調) 4,522 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量	(実) 46 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量 (実) 46 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量 (実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率	(実) 1.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		
原単位の単位		
基準年度の値		
目標年度の値		
削減率	%	%

ウ 目標設定に関する説明

温室効果ガスの削減を図るため、さらなる従業員の省エネの取り組み活動によって、2021年度までに1%以上の削減をすることを前提に目標を設定した。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	1. 環境管理計画を策定し、PDCAサイクルを適切に運用する。 2. 従業員に温室効果ガス削減のため、勉強会を実施し、意識の高揚を図る。 3. 事業所内で稼動する重機のアイドリングストップを実践するため、日々の始業前朝礼で繰り返し伝達する。 4. アスファルト合材の連続出荷により、燃費改善を図り、製造単位当たりの都市ガス使用量を削減する。 5. ヒーターの温度調整、使用時以外切る等不要電力の削減に努める。 6. 毎月第二週目土日連続閉所の実施により、温室効果ガスの削減に努める。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 （第3年度の報告時に記載）	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. 自動車の新規購入・更新にあたっては、ハイブリッド自動車などの低燃費車両を原則とする。 2. エコドライブを実践するため、簡易マニュアル等を配布するなど、従業員に対するエコドライブ教育を継続する。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

/ 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,597	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,338	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎アスファルト混合所	川崎市川崎区小島町 8 番 2 号	4,597 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂